

令和7年度事業報告について

令和7年度事業計画に基づき、次の事業を実施・参画した。

1 総会及び諸会議の開催・参画

	主な内容
令和7年	
4. 15～16	・ 令和7年度農薬実証ほ設計会議 (Web)
4. 21	・ バイオスティミラントに関する意見交換会 (Web)
4. 23～25	・ 都道府県等主任試験員等研修会 (東京都)
4. 24	・ 令和7年度農薬関係担当者会議 (県庁・Web)
5. 15	・ 公益社団法人新潟県植物防疫協会監査 (当会)
5. 20	・ 公益社団法人新潟県植物防疫協会幹事会 (Web)
5. 27	・ 公益社団法人 新潟県植物防疫協会第1回理事会 (農業共済組合)
6. 9	・ 令和7年度新潟県内水稻除草剤試験中間現地検討会 (作物研究センター・弥彦村)
6. 13	・ (一社) 日本植物防疫協会第14回総会 (東京都)
6. 18	・ 公益社団法人 新潟県植物防疫協会定時総会 (農業共済組合)
6. 18	・ 公益社団法人 新潟県植物防疫協会第2回理事会 (農業共済組合)
6. 24	・ 新潟県産業用無人航空機推進協議会監査 (農業共済組合)
6. 24	・ 令和7年度産業用無人航空機防除安全対策会議 (農業共済組合・web)
6. 24	・ 農林水産省消費安全局交付金事業事後評価 (当会)
6. 25	・ 全国農林航空事業推進協議会幹事会・総会 (東京都)
7. 7	・ 「にいがた植防だより」編集委員会 (Web)
7. 9	・ 農薬試験運営会議 (県庁・Web)
7. 17	・ 新潟県病害虫研究会総会・シンポジウム (農総研)
7. 31	・ 令和7年度新潟県産業用無人航空機推進協議会総会 (書面对応)
8. 6～8	・ (一社) 日本植物防疫協会GLP現地研修及び施設調査 (当会・各試験員宅)
8. 19	・ 斑点米カメムシ類臨時特例対策会議 (県庁・Web)
8. 29	・ 公益法人改革の対応説明会 (Web)
9. 2	・ 令和7年度産業用無人ヘリ飛行技術競技会打合せ (農業共済組合)
9. 17	・ (一社) 日本植物防疫協会シンポジウム (最新的水稻における病害虫防除を巡る課題) (東京都)
9. 25	・ 令和7年度産業用無人ヘリ飛行技術競技会現地打合せ (農業大学校)
10. 9	・ 令和7年度農薬関係担当者会議 (県庁・Web)

	主な内容
10. 14	・新潟県産業用無人ヘリコプター飛行技術競技会 (農業大学校)
10. 20	・（一社）農林水産航空・農業支援サービス協会設立式典 (Web)
10. 27～28	・2025年度新農薬実用化試験成績検討会（稲・野菜等） (金沢市)
11. 5～6	・第34回全国無人ヘリコプター飛行技術競技大会・研修会 (栃木県・宇都宮市)
11. 17	・新潟県農薬安全指導者協議会総会 (新潟市)
12. 4～5	・令和7年度植物防疫北陸地区協議会 (金沢市)
12. 15	・令和7年度農薬実証ほ成績検討会 (デンカビッグスワン)
12. 17	・令和7年度農薬管理指導士資質向上研修[第1回] (自治会館)
12. 18	・2025年度新農薬実用化試験成績検討会（IPM資材連絡試験） (Web)
令和8年	
1. 13	・北陸ブロック農業支援サービス意見交換会 (朱鷺メッセ)
1. 22	・新潟県農薬卸協同組合新年総会 (新潟市)
1. 22	・（一社）日本植物防疫協会シンポジウム「温暖化がもたらす新たな病虫害発生リスクを考える」 (Web)
1. 23	・令和7年度農薬管理指導士養成研修・認定試験 (県庁)
2. 17	・（一社）日本植物防疫協会GLP推進会議 (茨城県つくば市)
3. 4	・令和7年度農薬管理指導士資質向上研修[第2回] (自治会館)
3. 10	・公益社団法人新潟県植物防疫協会幹事会 (Web)
3. 10	・令和7年度水稻病虫害防除事業検討会並びに産業用無人航空機利用実績検討会 (農業共済組合・Web)
3. 11	・新潟県病虫害研究会シンポジウム (農総研・Web)
3. 18	・公益社団法人新潟県植物防疫協会第3回理事会 (農業共済組合)

2 農薬等試験の実施

本県の立地条件、気象条件に適合した農薬の開発を促進し、より効率的な防除を推進するため、農薬試験実施要領に基づいて(一社)日本植物防疫協会等から104件の農薬等試験を受託した。

なお、県への再委託試験については、当協会の農薬試験運営会議に諮り、県と委託契約を結び県農業総合研究所の各研究センター等において実施した。

・令和7年度農薬等受託試験受託状況

委 託 元	件 数	委託料 (消費税込) 円	備 考
(一社)日本植物防疫協会	93	28,980,820	県農業総合研究所(基盤研究部、作物・園芸・畜産・中山間地域の各研究センター) 協会試験員
(公財)日本植物調節剤研究協会	9	2,547,600	
そ の 他	2	450,000	
合 計	104	31,978,420	

3 農薬実証ほの設置運営

本県における適正な農薬使用を推進するため、普及指導センター等の協力を得て、新たに登録された農薬等30剤の実証ほを40か所設置して防除効果と作業性を調査した。実証結果は成績検討会で本県への普及性が評価され、県病虫害雑草防除指針に登載することによって普及活動への活用を図った。

・令和7年度農薬実証ほ設置状況

	委託農薬件数 件	実証ほ設置カ所数 カ所	備 考
普 通 作 物	3	3	農業普及指導センター 農業大学校 受託金額(消費税込) 1,699,500 円
園 芸 作 物	11	14	
(野 菜)	(4)	(5)	
(果 樹)	(5)	(6)	
(花 き)	(2)	(3)	
除 草 剤	16	23	
計	30	40	

なお、令和7年度に実証した農薬30剤のうち、11剤が「令和8年度農作物病虫害雑草防除指針」に新たに登載される予定。

4 防除活動の連携強化

(1) 防除対策の強化

水稻病虫害防除事業検討会をNOSA I新潟との共催により開催した。

(2) 防除情報の提供

機関紙「にいがた植防だより」を年2回、各1,200部を発行した。また、県が発表する病虫害発生予察情報等を関係機関やホームページで提供した。

(3) 農薬安全対策

ア 農薬危被害防止の徹底を図るため農薬危害防止運動(6/1～8/31)に合わせ農薬安全使用ポスター・チラシを配付し、農薬安全使用の啓発を図った。

イ 地域防除協議会の農薬適正使用推進、広報に要する経費の一部を助成した。

(4) 資料等の配布

ア 県農作物病虫害雑草防除指針 1,100部を印刷頒布した。

イ 中央情報の伝達を図るため、「農林水産航空情報」等資料の配布及び植物防疫出版物の紹介、斡旋を図った。

ウ 発生予察用資材のフェロモン製剤等を斡旋した(26機関 98資材 1,140千円)。

(5) 病虫害防除対策調査の実施

試験研究の成果に基づく防除技術の実証、又は緊急に防除を要する地域課題の解決を図るため、県内6地域の病虫害防除協議会が実施する病虫害防除対策調査の経費の一部を調査費として交付した。なお、調査結果は病虫害防除所業務年報に掲載された。

・令和7年度病虫害防除対策調査事業

実施主体	課題名
下越病虫害防除協議会 新潟地域病虫害防除連絡協議会	・トマトキバガの性フェロモントラップによる発生消長の把握
中越植物防疫協議会	・クモヘリカメムシの防除実証
植物防疫魚沼地域協議会	・斑点米カメムシ類のフェロモントラップによる発生状況調査 ・性フェロモントラップによる野菜害虫の発生状況調査
上越病虫害防除協議会	・大豆カメムシ類の発生実態調査
佐渡市農業再生協議会	・佐渡地域のかきにおけるフジコナカイガラムシの発生状況等の把握と被害軽減効果について検証

5 農薬管理指導士研修事業

県と協力して受講対象者を広げるなど農薬管理指導士の育成に取り組むとともに農薬安全使用の啓発を図った。また更新者(3ヶ年ごと)の資質向上のための研修会を開催した。

・研修会開催実績

研修の種類	日時	場所	対象者(人員)
養成研修	令和8年 1月23日	県庁講堂	新規認定者 (57名) 特例2名を含む
資質向上研修	令和7年12月17日 令和8年 3月 4日	自治会館	更新者* (322名)

*このほか県農薬安全指導者協議会とJA全農にいがた開催の研修で各73名及び96名が更新した。

6 その他

- (1) 「新潟県産業用無人航空機推進協議会」(会員:19団体)の事務局を担当し、安全対策会議の共催や飛行技術競技会の開催等を通じて本県における無人航空機の利用促進と安全運航を推進した。
- (2) (公社)新潟県植物防疫協会のHPを活用し、植物防疫関連の各種情報を提供した。